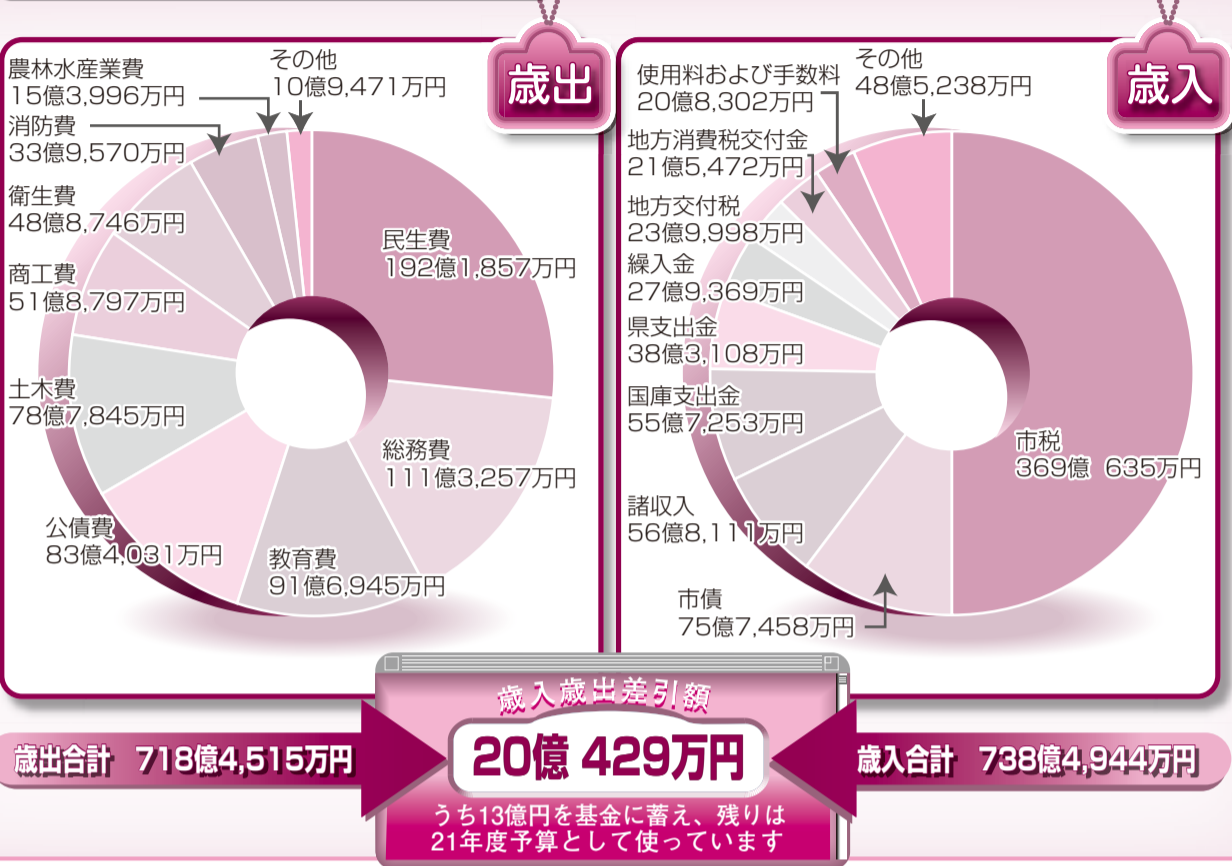


# 平成20年度決算の概況

## 13億円を財政調整基金へ積み立て

### 平成20年度一般会計決算



国の経済対策である「地域活性化・生活対策臨時交付金」により、平成21年度事業の一部前倒しを行ったほか、市内中小企業者支援のため3次にわたる緊急融資を実施するなどの景気対策に取り組みました。また、第3子以降の子育て支援や中・高齢者を対象とした生きがいづくりの政策課題を推進しました。

その結果となる「歳入歳出の決算」を報告します。

一般会計の歳入決算の総額は738億4,944万円、歳出決算の総額は718億4,515万円で、前年度に比べ歳入は2.3%、歳出は3.7%の増となりました。

また、歳入歳出の差引額は20億4,290万円となり、翌年度に繰り越される事業の財源分を差し引いた14億4,489万円を純粋な剰余金として残すことができました。

剰余金のうち13億円を災害などの万一の不測の事態に備えるため、財政調整基金(市の貯金)に積み立て、残りの1億4,489万円を翌年度へ繰り越しました。

※単位未満の数字は端数処理しています。

### 決算に基づく財政の

### 健全化判断比率・資金不足比率を公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、平成20年度決算に基づく健全化判断比率および公営企業会計に係る資金不足比率を公表します。

平成20年度決算に基づく指標は、いずれも早期健全化基準および経営健全化基準を下回る結果となっています。今後も、引き続き健全な財政運営に努めます。

(単位: %)

区分	平成20年度	19年度	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率	-	-	11.38	20.00
② 連結実質赤字比率	-	-	16.38	40.00
③ 実質公債費比率	10.5	11.5	25.00	35.00
④ 将来負担比率	115.7	123.0	350.00	

※実質収支が黒字であるため①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率の欄は「-」です。  
〈参考〉実質黒字の程度は、H20: ①3.45%の黒字 ②14.77%の黒字  
H19: ①5.53%の黒字 ②17.98%の黒字です。

(単位: %)

区分	水道事業会計	下水道事業会計	農業共済事業	経営健全化基準
資金不足比率	平成20年度 -	-	-	20.00
	19年度 -	-	-	

※各会計とも資金不足は発生していないため、資金不足比率は「-」です。

#### 比率などの概要

- 実質赤字比率…一般会計などを対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率  
※標準財政規模…自治体が通常水準の行政を行う上で、必要な一般財源の額(平成20年度=433億9,273万4千円)
- 連結実質赤字比率…全会計を対象とした実質的な赤字の標準財政規模に対する比率
- 実質公債費比率…一般会計などで借りた地方債の償還金と、公営企業が借りた地方債の償還金に対する一般会計からの繰入金などの合計額の標準財政規模に対する比率
- 将来負担比率…公営企業や公社なども含め、一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率
- 資金不足比率…公営企業における資金の不足額(一般会計などの実質赤字に相当するもの)の事業の規模(料金収入など主たる営業活動から生じる収益などに相当する額)に対する比率
- 早期健全化基準…市町村の財政規模などにより設定された数値で、この基準を超えた場合は、財政健全化計画の策定などが必要になる
- 財政再生基準…市町村に設定された数値で、この基準を超えた場合は財政再生計画の策定などが必要になり、地方債の発行が制限されたりする

### 平成20年度特別会計決算

会計名	歳出決算額	歳入決算額
国民健康保険(事業勘定)	200億1,995万円	203億1,313万円
国民健康保険(施設勘定)	1億6,992万円	1億8,029万円
住宅新築資金等貸付	6,209万円	6,290万円
老人保健	14億2,782万円	15億953万円
後期高齢者医療	13億8,839万円	13億9,713万円
八王子山墓園	1億5,668万円	2億889万円
介護保険(保険事業勘定)	100億318万円	102億9,738万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	2,679万円	4,208万円
藪塚本町介護老人保健施設	2億9,437万円	2億9,867万円

#### 歳出の用語解説

- 民生費** 幼児やお年寄り、体の不自由な人のための費用
- 総務費** 市役所の全般的な事務費
- 教育費** 小・中・高等学校の経費など
- 公債費** 借入金を返済するための費用
- 土木費** 道路や河川、公園整備の費用
- 商工費** 商業や工業の発展のための費用
- 衛生費** ごみ・し尿処理施設、予防接種などの費用
- 消防費** 消防活動や災害を防ぐための費用
- 農林水産業費** 農業の発展や土地改良のための費用
- その他** 労働費や議会費、その他の歳出をまとめたもの

#### 歳入の用語解説

- 市税** 市民税や固定資産税などの税金
- 市債** 建設事業費などを補うための借入金
- 諸収入** ほかの項目に分類されない収入
- 国庫支出金** 特定の事業を行うため国から交付
- 県支出金** 特定の事業を行うため県から交付
- 繰入金** 市の他会計や基金からの繰入金
- 地方交付税** 財源不足を補うため国から交付
- 地方消費税交付金** 県に納められた地方消費税を人口と従業者割合に応じて交付
- 使用料および手数料** 市の施設利用料や証明書などの発行料
- その他** 財産収入やその他の歳入をまとめたもの

問い合わせ：財政課 ☎ 47-1816

# 平成21年度上半期の予算執行状況

項目	予算額	収入済額
市税	347億2,375万円	185億8,749万円
国庫支出金	126億3,377万円	50億5,011万円
市債	104億1,507万円	—
諸収入	71億 592万円	6億8,683万円
県支出金	45億 839万円	5億4,034万円
繰入金	32億8,889万円	—
地方交付税	22億9,435万円	14億4,853万円
地方消費税交付金	20億6,000万円	13億6,616万円
使用料および手数料	20億2,187万円	9億3,100万円
その他	47億7,102万円	25億 184万円
合計	838億2,303万円	311億1,230万円
収入率		37.1%

項目	予算額	支出済額
民生費	214億4,394万円	83億 459万円
総務費	141億 255万円	80億5,879万円
教育費	140億2,308万円	50億2,387万円
土木費	84億3,560万円	28億4,421万円
公債費	81億3,919万円	40億8,714万円
衛生費	55億8,494万円	18億1,394万円
商工費	51億3,967万円	37億1,867万円
消防費	34億5,766万円	14億5,808万円
農林水産業費	20億4,450万円	5億3,596万円
その他	14億5,190万円	6億8,691万円
合計	838億2,303万円	365億3,216万円
支出率		43.6%

※歳入歳出には前年度からの繰越予算を含んでいます。

会計名	予算額	収入済額	支出済額
国民健康保険(事業勘定)	207億4,454万円	72億4,597万円	86億3,433万円
国民健康保険(施設勘定)	1億9,390万円	4,237万円	8,096万円
住宅新築資金等貸付	6,954万円	1,770万円	2,487万円
老人保健	1億2,909万円	9,566万円	203万円
後期高齢者医療	15億4,371万円	4億8,553万円	4億6,260万円
八王子山墓園	1億 934万円	7,786万円	2,390万円
介護保険(保険事業)	102億5,997万円	42億8,783万円	41億9,024万円
介護保険(介護サービス事業)	5,354万円	2,884万円	963万円
藪塚本町介護老人保健施設	2億9,518万円	6,827万円	1億5,748万円

特別会計

市税の負担		市税予算額	347億2,375万円
	1世帯当たり		41,190円
	市民一人当たり		15,781円
9月30日現在の人口・世帯数	人口	220,034人	
	世帯数	84,302世帯	

## 平成21年9月末日現在の市債現在高(一般会計)

市債現在高(使途別)	金額	割合
土木債	174億2,210万円	23.9%
民生保健衛生債	54億5,225万円	7.5%
教育債	91億4,994万円	12.6%
公営住宅債	50億1,447万円	6.9%
その他	358億 970万円	49.1%
合計	728億4,846万円	100.0%

現市在債高(借入先別)	金額	割合
政府資金	467億3,595万円	64.2%
地方公共団体金融機構	65億 374万円	8.9%
その他	196億 877万円	26.9%
うちおた市民債	28億 円	3.8%
合計	728億4,846万円	100.0%

## 平成21年度上半期(4月1日~9月30日)の予算執行状況

今年度の予算は、学校の耐震化や救急医療対策などの安全安心事業、第3子以降子育て支援事業など、新生太田総合計画を基本に市民満足度向上のための施策に取り組むとともに、市民の参画と協働によるまちづくりを推進する予算としました。

一般会計の当初予算額は723億9千万円で、その後の補正予算により9月末現在771億3,434万円となりました。

今後も適正な予算執行に努め、皆さんのご期待に沿うよう努力します。

問い合わせ：財政課(☎47-1816)

## 市の財務諸表をみましょう

市では、歳入と歳出の決算状況のほかに発生主義による企業会計的な視点から、より正確な財政状況を把握するために財務諸表として「キャッシュフロー計算書」「行政コスト計算書」「貸借対照表」などを作成しています。ここで平成20年度一般会計・7特別会計決算による「キャッシュフロー計算書」と「行政コスト計算書」を紹介します。

### キャッシュフロー計算書とは

1年度間における現金の流れの状況を三つの活動区分にして表示したもの

一般会計・7特別会計キャッシュフロー計算書 平成20年4月1日~21年3月31日(単位:億円)

活動区分	(歳入) キャッシュ・イン・フロー(A)	(歳出) キャッシュ・アウト・フロー(B)	(収支差額) ネット・キャッシュ・フロー(C=A-B)
事務運営活動	857	796	61
建設活動	20	118	△98
財務活動	189	160	29
活動合計(D)	1,066	1,074	△8
資金期首残高(繰越金)(E)	35		35
資金期末残高(F=D+E)	1,101	1,074	27

事務運営活動：税や国からの交付金などの収入や人件費、物件費、扶助費など経常的な行政サービスを行うために要した経費

建設活動：資産形成の支出に充当される国・県からの補助金や、普通建設事業費など道路、施設整備のために要した経費

財務活動：地方債の発行、基金からの繰入金収入や公債費など償還金または貸し付けに要した経費

資金期首残高(繰越金)：平成19年度決算の歳入から歳出を差し引いた額(19年度単年度収支)

資金期末残高：20年度決算の歳入から歳出を差し引いた額(20年度単年度収支)

※事務運営活動と建設活動に財務活動を加えた収支差額は、支出が収入を8億円上回りました。また、この収支差額に前年度からの繰越金35億円を加えた27億円が今年度の剰余金です。

### 行政コスト計算書とは

1年度間における市の行政活動に伴い発生したすべての費用(現金支出を伴わない費用を含む)

一般会計・7特別会計「行政コスト計算書」(1年間の経常的な行政運営に使われた費用と料金収入などの比較)(単位:億円)

会計区分	歳出コスト(A)	発生コスト(B)	コスト総額(C=A+B)	料金等および国庫等負担(D)	行政コスト(E=C-D)
一般会計	499	70	569	138	431
7特別会計	32	299	331	314	17
合計	531	369	900	452	448

歳出コスト：経常的な行政運営に要した費用

発生コスト：借入金の利子、発生主義特有の現金支出を伴わない費用(退職給与引当金繰入額、減価償却費など)

料金等および国庫等負担：施設の利用料金や経常的な行政運営に対して支払いに使われる国・県の補助金など

## 市有財産の状況

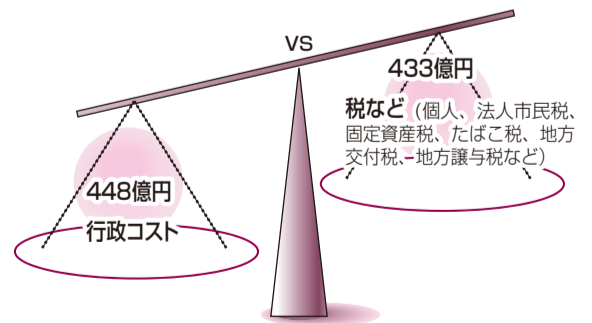
平成21年9月末日現在の市有財産現在高	
有価証券など	12億 2,880万円
出資金	39億 9,446万円
基金	66億 5,065万円
土地(山林を含む)	6,575,973㎡
建物	834,124㎡

問い合わせ：管財課(☎47-1822)

## 「行政コスト」VS「税などの負担」

行政コスト：皆さんが租税により負担するコストです。

利用者が負担するものもありますが、市のサービスの大部分は、租税などに依存しています。



※キャッシュフロー計算書では27億円の剰余ですが、退職給与引当金繰入額や減価償却費など現金支出を伴わない費用を含むと15億円のコスト超過になります。

問い合わせ：行政経営課(☎47-1811)